

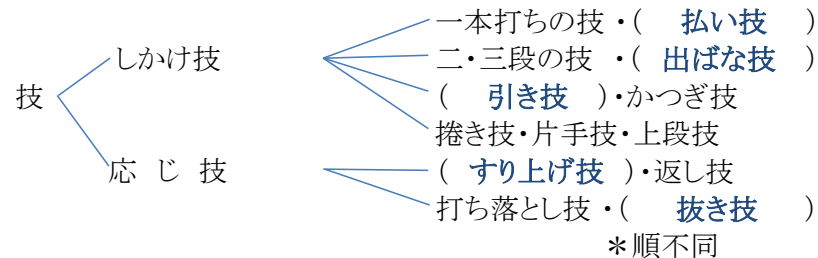
令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

五 段

受験番号

記入チェック

1. 次の剣道の技をまとめた表中の()に適切な語句(技)を入れて完成させなさい。 2点×5=10点



2. 日本剣道形に関する次の各問いに答えなさい。 4点×5=20点

- ① 3本目に仕太刀が軽く入れ突きに萎やすと同時に打太刀の胸部へ突き返した後、さらに突きの氣勢で左足を踏み出してどのように進むか。
(位詰に進む)
- ② 4本目に打太刀が諸手で仕太刀を突くとあるが、どこを突くか。
(右 肺)
- ③ 7本目に打太刀が胸部を突き、仕太刀が打太刀の刀を支えるとあるが、仕太刀は刀のどの部分で支えるか。
(物打ちの鐔(しのぎ))
- ④ 小太刀の形で3本とも打太刀が動作を起こすのは、仕太刀がどのようになろうとするとところか。
(入り身になろうとする)
- ⑤ 小太刀の形3本目に右胴に打ってくる打太刀の刀を 左鐔でどのように使うか。分かりやすく説明しなさい。
(すり流し、打太刀の鍔元にすり込む)

3. 次の文章は、剣道試合・審判・運営要領に関する内容であるが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。

3点×10=30点

この規則は、全日本剣道連盟の剣道試合につき、(剣の理法)を全うしつつ、(公明正大)に試合をし、(適正公平)に審判することを目的とする。審判の目的は、試合、審判規則を正しく運用し、試合による全ての事実を(正しく)判断し、決定することである。審判員の任務は、適正な試合運営に努め、試合の(活性化)を図ることである。さらに、審判員の「使命は何か」「任務は何か」「資格は何か」を(自覚)する必要がある。審判員の判定には、絶対的な(権限)が与えられている。したがって、審判員は独善や(主観)ではない妥当性と(客観性)に基づいた自己の心の(決断)によって判定しなければならない。

4. 「審判員の心得」について一般的要件と留意事項を列挙しなさい。

4点×10=40点

[一般的要件]

- ① 公平無私であること。
② 試合・審判規則、運営要領を熟知し、正しく運用できること。
③ 剣理に精通していること。
④ 審判技術に熟達していること。
⑤ 健康体で、かつ活動的であること。

[留意事項]

- ① 服装を端正にすること。
② 姿勢・態度・所作などを厳正にすること。
③ 言語が明晰であること。
④ 数多く審判を経験し、反省と研鑽に努めること。
⑤ 良い審判を見て学ぶこと。

※審査員の裁量で採点

〈出典〉 剣道指導要領 日本剣道形解説書
剣道試合・審判・運営要領の手引き

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

四 段

受験番号

記入チェック

1. 次の文章は、剣道試合・審判規則に関する内容であるが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5=15点

この規則は、全日本剣道連盟の剣道試合につき、剣の理法を全うしつつ、(公明正大)に試合をし、(適正公平)に審判することを目的とする。

有効打突は、(充実した氣勢)、適正な姿勢をもって竹刀の打突部で打突部位を(刃筋正しく)打突し、(残心)あるものとする。

2. 剣道を学ぶうえで、外面と内面とが一致することが求められる。どのような一致事項があるか。3つ答えなさい。 5点×3=15点

① 気剣体一致

〈別解答〉

② 懸待一致

・ 攻防一致

③ 心気力一致

・ 事理一致

* 順不同

3. 剣道試合・審判細則に関して、次の各問いに答えなさい。 2点×10=20点

- ① つば(鰐)の大きさは、直径(9)cm以下とする。
② 試合者の赤および白の(目印)は長さ(70)cmとする。
③ 立礼の位置は開始線の手前(3)歩である。
④ 有効打突の取り消しは打突後、必要以上の(余勢)や有効を(誇示)した場合などとする。
⑤ 相手の竹刀を握る、または自分の竹刀の(刃部)を握ることは禁止行為である。
⑥ 故意に時間の(空費)をすることは禁止行為である。
⑦ 境界線外において、身体の(一部)または竹刀で身体を支えた場合は(場外)の禁止行為である。

4. 日本剣道形に関する次の各問いに答えなさい。 4点×5=20点

- ① 1本目に打太刀が仕太刀の正面を打つとあるが、どのように打ち下ろす気構えが大切であるか。
(柄もろともに打ち下ろす)
② 3本目に仕太刀が入れ突きに萎やすと同時に胸部へ突き返した後、左足を踏み出してどのように進むか。
(位詰め(くらいづめ))
③ 6本目に打太刀が諸手左上段に振りかぶり、仕太刀は一步進むとあるが、進んだ時、剣先はどこにつけるか。
(左拳(こぶし))
④ 小太刀の形で3本とも打太刀が動作を起こすのは、仕太刀がどのようになろうとするところか。
(入り身になろうとする)
⑤ 小太刀の形3本目に、打太刀が正面に打ち下ろすと、仕太刀はその刀をどのようにするか。
(いったんすり上げて打太刀の右斜めにすり落とす)

5. 「剣道指導の心構え」について書きなさい。 30点

(竹刀の本意)

剣道の正しい伝承と発展のために、剣の理法に基づく竹刀の扱い方の指導に努める。

(礼法)

相手の人格を尊重し、心豊かな人間の育成のために礼法を重んずる指導に努める。

(生涯剣道)

ともに剣道を学び、安全・健康に留意しつつ、生涯にわたる人間形成の道を見出す指導に努める。

※審査員の裁量で採点

〈出典〉 剣道指導要領 剣道試合・審判規則/同細則
日本剣道形解説書

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

三段

受験番号

記入チェック

1. 次の文章は、「剣道修錬の心構え」について述べているが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5＝15点

剣道を正しく真剣に学び (心身を錬磨) して
(旺盛なる気力) を養い 剣道の特性を通じて
(礼節をとうとび) 信義を重んじ 誠を尽くして
常に(自己の修養) に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の(平和繁栄) に寄与せんとするものである。

2. 次の文章は「有効打突」および「竹刀の打突部」の規則である。
()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5＝15点

有効打突は、(充実した氣勢)、(適正な姿勢)をもって竹刀の
打突部で打突部位を(刃筋正しく)打突し、(残心)あるものとする。
竹刀の打突部は(物打ち)を中心とした刃部(弦の反対側)とする。

3. 次の文章のうち、禁止行為(反則)に該当するものは○、そうでないもの
には×を()に記入しなさい。 2点×5＝10点

- (×) 片足の半分が境界線外に出た場合
(○) 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握った場合
(○) 相手の肩に故意に竹刀をかけた場合
(×) 相手から体当たりをされ 境界線内の床に倒れた場合
(○) 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せになった場合

4. 日本剣道形の太刀の形に関する次の各問いに答えなさい。 5点×4＝20点

- ① 1本目に仕太刀が剣先を打太刀の顔の中心につけるとあるが、
「顔の中心」とはどこか。
(両眼の間)
② 4本目に打太刀が諸手で仕太刀を突くとあるが、どこを突くか。
(右肺)
③ 5本目に打太刀が諸手左上段から仕太刀の正面を打つと
あるが、どこまで切り下げる心持ちで打ち下ろすか。
(顎(あご)まで)
④ 6本目に打太刀が右足を引いて諸手左上段に振りかぶる。
仕太刀は中段のまま大きく右足から一歩進むとあるが、
進んだ時剣先はどこにつけるか。
(左拳(こぶし))

5. 「気・剣・体の一致」について説明しなさい。 40点

*攻防動作を効果的に行うための大事な要素を表現したことば。

主に打突動作の教えであり、

「気」とは気力のこと、

「剣」とは竹刀操作のこと、

「体」とは体さばきと体勢のこと。

これらがタイミングよく調和がとれ、一体となって働くことで有効

打突の成立条件となる。

※審査員の裁量で採点

〈出典〉 剣道指導要領 剣道試合・審判規則/同細則
日本剣道形解説書

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

二段

受験番号

記入チェック

1. 全日本剣道連盟の「剣道の理念」を()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 5点

剣道は(剣の理法の修錬による人間形成)の道である。

2. 次の文章は、「剣道修錬の心構え」について述べているが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 2点×5=10点

剣道を正しく真剣に学び (心身)を錬磨して
旺盛なる(気力)を養い 剣道の特性を通じて
(礼節)をとうとび (信義)を重んじ 誠を尽くして
常に自己の(修養)に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。

3. 次の文章は、日本剣道形による太刀の形の2本目を述べている。
()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×10=30点

打太刀、仕太刀(相中段)で、互いに(右足)から進み、
間合に接したとき、打太刀は機を見て仕太刀の(右小手)を打つ。
仕太刀は、(左足)から右足をともなって左斜め後ろにひくと
同時に、剣先を下げて、打太刀の刀の下で(半円)をえがく
心持ちで打太刀の打ち込んでくるのを抜いて、大きく右足を踏み
出すと同時に打太刀の(右小手)を打つ。
打太刀は(左足)から、仕太刀は(右足)から十分な
気位で(残心)を示しながら、(相中段)になりつつ、刀を
抜き合わせた位置にもどり、剣先を下げて、元の位置にかえる。

4. 剣道における攻撃の「打突の好機」について書きなさい。 3点×5=15点

- ① 相手の技の(起こり)
② 相手の技の(つきた)ところ
③ 相手が(居ついた)ところ
④ 相手が(ひいた)ところ
⑤ 相手が技を(受けとめた)ところ

5. 剣道で礼儀を重んずる理由について書きなさい。 40点

*剣道は、相手を攻撃する対人的格闘技であることから、常に相手の人格を尊重し、互いに身体を鍛え、技を錬磨し、心を養うためのよき協力者として、内には心から尊敬と感謝の念を持ちつつ、外には端正な姿勢をもって礼儀正しくすることは、互いにより良い剣道を築き上げていくうえで大切なことであり、ひいては好ましい社会的態度の育成につながるものである。
*常に正しい心、慎みの心、敬う心といった礼の本体を離れることなく、素晴らしい剣道を創造していくうえで、礼は大切な要素である。 等々

※審査員の裁量で採点

〈出典〉 剣道指導要領 剣道試合・審判規則/同細則
日本剣道形解説書

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

初 段

受験番号

記入チェック

1. 全日本剣道連盟の「剣道の理念」を()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 10点

剣道は(剣の理法の修錬による人間形成)の道である。

2. 次の文章は、「剣道修錬の心構え」について述べているが、()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×5=10点

剣道を正しく真剣に学び (心身)を錬磨して
旺盛なる(気力)を養い 剣道の特性を通じて
(礼節)をとうとび (信義)を重んじ 誠を尽くして
常に自己の(修養)に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。

[信義、心身、体力、気力、礼節、礼儀、研鑽、修養]

3. 次の文章は、「竹刀・木刀の持ち方と構え方」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×5=10点

竹刀や木刀の正しい持ち方は、左手の(ニ)を柄頭いっぱいにかけて上から握り、小指、(ト)を締め、中指を軽く締め、そして人差し指と(ハ)は軽く添えるようにする。
両手とも(ホ)と親指の分かれめが竹刀の弦の延長線上にあるようにする。
両肘は張り過ぎず、すぼめ過ぎず、伸ばし過ぎずの状態、力を入れ過ぎないように(ロ)を持たせて構える。

イ. 緊張 ロ. ゆとり ハ. 親指 ニ. 小指 ホ. 人差し指
ヘ. 中指 ト. 薬指

4. 次の文章は、「掛け声」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×10=20点

掛け声とは、心に(チ)がなく、気力が(イ)した状態が(ヌ)に声となって(ヘ)にあらわれたものである。
掛け声の目的は、大きな掛け声を掛けることにより、(ロ)を励まし、(ト)を充実させ、相手を(ハ)し、相手の(リ)の起こりをくじくと共に、「(ニ)一致」をはかり、打突の強度や(ホ)を高める。

イ. 充実 ロ. 自分 ハ. 威圧 ニ. 気剣体 ホ. 正確性
ヘ. 外 ト. 気力 チ. 油断 リ. 気 ヌ. 自然

5. 次の文章は、「礼」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×5=10点

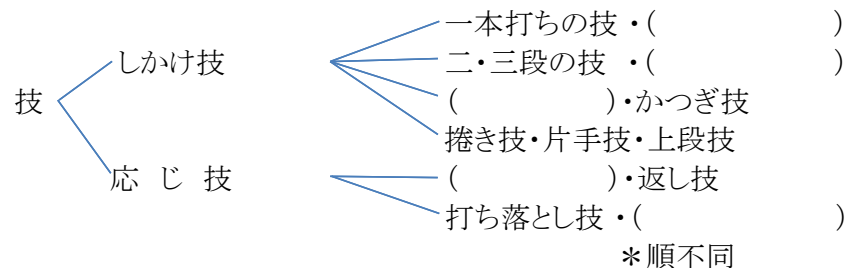
社会秩序を保つための(ホ)規範。(ロ)に敬意をはらった立ち居ふるまい。「(イ)に始まり礼に終わる」とは剣道において、相手に対し(ニ)をあらわす礼とその(ハ)の重要性を説いたことばである。

イ. 礼 ロ. 相手 ハ. 作法 ニ. 敬意 ホ. 生活

6. あなたが剣道をやって良かったこと。また、剣道を通しての今後の目標を書きなさい。 40点

※審査員の裁量で採点

1. 次の剣道の技をまとめた表中の()に適切な語句(技)を入れて完成させなさい。 2点×5=10点



2. 日本剣道形に関する次の各問いに答えなさい。 4点×5=20点

- ① 3本目に仕太刀が軽く入れ突きに萎やすと同時に打太刀の胸部へ突き返した後、さらに突きの氣勢で左足を踏み出してどのように進むか。
()
- ② 4本目に打太刀が諸手で仕太刀を突くとあるが、どこを突くか。
()
- ③ 7本目に打太刀が胸部を突き、仕太刀が打太刀の刀を支えるとあるが、仕太刀は刀のどの部分で支えるか。
()
- ④ 小太刀の形で3本とも打太刀が動作を起こすのは、仕太刀がどのようになろうとするとところか。
()
- ⑤ 小太刀の形3本目に右胴に打ってくる打太刀の刀を 左鐺でどのように使うか。分かりやすく説明しなさい。
()

3. 次の文章は、剣道試合・審判・運営要領に関する内容であるが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。

3点×10=30点

この規則は、全日本剣道連盟の剣道試合につき、()を全うしつつ、()に試合をし、()に審判することを目的とする。審判の目的は、試合、審判規則を正しく運用し、試合による全ての事実を()判断し、決定することである。審判員の任務は、適正な試合運営に努め、試合の()を図ることである。さらに、審判員の「使命は何か」「任務は何か」「資格は何か」を()する必要がある。審判員の判定には、絶対的な()が与えられている。したがって、審判員は独善や()ではない妥当性と()に基づいた自己の心の()によって判定しなければならない。

4. 「審判員の心得」について一般的要件と留意事項を列挙しなさい。

4点×10=40点

[一般的要件]

- ① _____
② _____
③ _____
④ _____
⑤ _____

[留意事項]

- ① _____
② _____
③ _____
④ _____
⑤ _____

※審査員の裁量で採点

〈出典〉 剣道指導要領 日本剣道形解説書
剣道試合・審判・運営要領の手引き

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題 四 段

受験番号

1. 次の文章は、剣道試合・審判規則に関する内容であるが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5=15点

この規則は、全日本剣道連盟の剣道試合につき、剣の理法を全うしつつ、()に試合をし、()に審判することを目的とする。

有効打突は、()、適正な姿勢をもって竹刀の打突部で打突部位を()打突し、()あるものとする。

2. 剣道を学ぶうえで、外面と内面とが一致することが求められる。どのような一致事項があるか。3つ答えなさい。 5点×3=15点

① _____

② _____

③ _____

* 順不同

3. 剣道試合・審判細則に関して、次の各問いに答えなさい。 2点×10=20点

- ① つば(鰐)の大きさは、直径()cm以下とする。
② 試合者の赤および白の()は長さ()cmとする。
③ 立礼の位置は開始線の手前()歩である。
④ 有効打突の取り消しは打突後、必要以上の()や有効を()した場合などとする。
⑤ 相手の竹刀を握る、または自分の竹刀の()を握ることは禁止行為である。
⑥ 故意に時間の()をすることは禁止行為である。
⑦ 境界線外において、身体の()または竹刀で身体を支えた場合は()の禁止行為である。

4. 日本剣道形に関する次の各問いに答えなさい。 4点×5=20点

- ① 1本目に打太刀が仕太刀の正面を打つとあるが、どのように打ち下ろす気構えが大切であるか。
()
② 3本目に仕太刀が入れ突きに萎やすと同時に胸部へ突き返した後、左足を踏み出してどのように進むか。
()
③ 6本目に打太刀が諸手左上段に振りかぶり、仕太刀は一步進むとあるが、進んだ時、剣先はどこにつけるか。
()
④ 小太刀の形で3本とも打太刀が動作を起こすのは、仕太刀がどのようになろうとするところか。
()
⑤ 小太刀の形3本目に、打太刀が正面に打ち下ろすと、仕太刀はその刀をどのようにするか。
()

5. 「剣道指導の心構え」について書きなさい。 30点

(竹刀の本意) _____

(礼法) _____

(生涯剣道) _____

〈出典〉 剣道指導要領 剣道試合・審判規則/同細則
日本剣道形解説書

令和 8年度 夏季
昇段審査学科問題

三段(男・女)

受験番号

1. 次の文章は、「剣道修練の心構え」について述べているが、()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5=15点

剣道を正しく真剣に学び ()して
()を養い 剣道の特性を通じて
() 信義を重んじ 誠を尽くして
常に()に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の()に寄与せんとするものである。

2. 次の文章は「有効打突」および「竹刀の打突部」の規則である。
()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 3点×5=15点

有効打突は、()、()をもって竹刀の
打突部で打突部位を()打突し、()あるものとする。
竹刀の打突部は()を中心とした刃部(弦の反対側)とする。

3. 次の文章のうち、禁止行為(反則)に該当するものは○、そうでないものには×を()に記入しなさい。 2点×5=10点

- () 片足の半分が境界線外に出た場合
() 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握った場合
() 相手の肩に故意に竹刀をかけた場合
() 相手から体当たりをされ 境界線内の床に倒れた場合
() 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せになった場合

4. 日本剣道形の太刀の形に関する次の各問いに答えなさい。 5点×4=20点

- ① 1本目に仕太刀が剣先を打太刀の顔の中心につけるとあるが、「顔の中心」とはどこか。
()
② 4本目に打太刀が諸手で仕太刀を突くとあるが、どこを突くか。
()
③ 5本目に打太刀が諸手左上段から仕太刀の正面を打つとあるが、どこまで切り下げる心持ちで打ち下ろすか。
()
④ 6本目に打太刀が右足を引いて諸手左上段に振りかぶる。仕太刀は中段のまま大きく右足から一歩進むとあるが、進んだ時剣先はどこにつけるか。
()

5. 「気・剣・体の一致」について説明しなさい。 40点

〈出典〉 剣道指導要領 剣道試合・審判規則/同細則
日本剣道形解説書

1. 全日本剣道連盟の「剣道の理念」を()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。

5点

剣道は()の道である。

2. 次の文章は、「剣道修錬の心構え」について述べているが、()
に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。 2点×5＝10点

2点 $\times$ 5=10点

剣道を正しく真剣に学び（ ）を錬磨して
旺盛なる（ ）を養い 剣道の特性を通じて
（ ）をととび （ ）を重んじ 誠を尽くして
常に自己の（ ）に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。

3. 次の文章は、日本剣道形による太刀の形の2本目を述べている。
()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。

$$3\text{点} \times 10 = 30\text{点}$$

打太刀、仕太刀()で、互いに()から進み、
間合に接したとき、打太刀は機を見て仕太刀の()を打つ。
仕太刀は、()から右足をともなって左斜め後ろにひくと
同時に、劔先を下げ、打太刀の刀の下で()をえがく
心持ちで打太刀の打ち込んでくるのを抜いて、大きく右足を踏み
出すと同時に打太刀の()を打つ。

打太刀は()から、仕太刀は()から十分な
気位で()を示しながら、()になりつつ、刀を
抜き合わせた位置にもどり、剣先を下げて、元の位置にかえる。

4. 剣道における攻撃の「打突の好機」について書きなさい。

3点 $\times$ 5=15点

- ① 相手の技の()
- ② 相手の技の()ところ
- ③ 相手が()ところ
- ④ 相手が()ところ
- ⑤ 相手が技を()ところ

6. 剣道で礼儀を重んずる理由について書きなさい。 40点

40点

This image shows a blank sheet of white paper with horizontal blue ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

令和 8年度 夏季
令昇段審査学科問題

初段(男・女)

受験番号

1. 全日本剣道連盟の「剣道の理念」を()に適切な語句を入れて文章を完成させなさい。

10点

剣道は()の道である。

2. 次の文章は、「剣道修錬の心構え」について述べているが、()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。

2点×5=10点

剣道を正しく真剣に学び ()を錬磨して
旺盛なる()を養い 剣道の特性を通じて
()をとうとび ()を重んじ 誠を尽くして
常に自己の()に努め
以って 国家社会を愛して
広く人類の平和繁栄に寄与せんとするものである。

[信義、心身、体力、気力、礼節、礼儀、研鑽、修養]

3. 次の文章は、「竹刀・木刀の持ち方と構え方」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。

2点×5=10点

竹刀や木刀の正しい持ち方は、左手の()を柄頭いっぱいにかけて上から握り、小指、()を締め、中指を軽く締め、そして人差し指と()は軽く添えるようにする。
両手とも()と親指の分かれめが竹刀の弦の延長線上にあるようにする。
両肘は張り過ぎず、すばめ過ぎず、伸ばし過ぎずの状態、力を入れ過ぎないように()を持たせて構える。

イ. 緊張 ロ. ゆとり ハ. 親指 ニ. 小指 ホ. 人差し指
ヘ. 中指 ト. 薬指

4. 次の文章は、「掛け声」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×10=20点

掛け声とは、心に()がなく、気力が()した状態が()に声となって()にあらわれたものである。
掛け声の目的は、大きな掛け声を掛けることにより、()を励まし、()を充実させ、相手を()し、相手の()の起こりをくじくと共に、「()一致」をはかり、打突の強度や()を高める。

イ. 充実 ロ. 自分 ハ. 威圧 ニ. 気剣体 ホ. 正確性
ヘ. 外 ト. 気力 チ. 油断 リ. 気 ヌ. 自然

5. 次の文章は、「礼」について述べたものである。()に適切な語句を下記語群から選び文章を完成させなさい。 2点×5=10点

社会秩序を保つための()規範。()に敬意をはらった立ち居ふるまい。「()に始まり礼に終わる」とは剣道において、相手に対し()をあらわす礼とその()の重要性を説いたことばである。

イ. 礼 ロ. 相手 ハ. 作法 ニ. 敬意 ホ. 生活

6. あなたが剣道をやって良かったこと。また、剣道を通しての今後の目標を書きなさい。 40点
